

会議名称	学会委員会（平成 26 年度第 1 回）							
日 時	平成 26 年 6 月 12 日（金）16:00～17:00							
場 所	中央病院 3 階 第 3 会議室							
出席者	○	伊藤会長	○	野崎副会長	○	郷右近委員長	○	吉田副委員長
	○	鈴木総会長	×	小井田副総会長	○	横島副総会長	○	池端委員
	×	漕向委員	○	中村委員	○	下沖委員	×	高橋委員
議 題	報告事項	1 平成 26 年度医学会役員体制について 2 平成 25 年度決算及び監査報告について 3 平成 25 年度診療科別分科会の開催実績について						
	協議事項	1 平成 26 年度医学会予算（案）について 2 平成 26 年度診療科別分科会の開催状況について 3 医学会名誉会員の推薦について 4 第 46 回岩手県立病院医学会総会について 5 第 47 回岩手県立病院医学会総会について 6 第 48 回岩手県立病院医学会総会について 7 平成 26 年度春季学術集会について						
議 事 要 旨	【報告事項】 1 平成 26 年度医学会役員体制について 【事務局報告】 定期人事異動等により評議員 2 名、分科会代表世話人 2 名（3 分科会）の交代があった。評議員については病院より選出してもらい後任が決定しているが、3 分科会（呼吸器、地域連携・医療福祉、リハビリテーション）については後任が未定である。 ⇒それぞれの分科会には発起人がいるので、発起人を確認してその中で後任の代表世話人を決めてもらう。よって、発起人の確認を早急に行う必要がある。							
	2 平成 25 年度決算及び監査報告について 【事務局報告】 平成 25 年度決算を報告 ⇒承認。							
	3 平成 25 年度診療科別分科会の開催実績について 【事務局報告】 平成 25 年度の開催実績は、開催回数 45 回、参加人数 3,575 人（うち、医師 519 人）、執行額は 3,473,245 円であった。前年に比べ支出額が減ったのは分科会と病院との合同開催時の旅費を病院支出としことが要因。そのため、開催回数を増やすことが出来た。 【未開催の分科会について】 昨年度は 10 の分科会が自主研修会未開催となった。このままでは、自主研修会を開催しないことも考えられるので、医学会より代表世話人への開催を促す文書を発行することとしたい。							
【協議事項】 1 平成 26 年度医学会予算（案）について 【事務局より説明】 前年度並みの予算（案）を組んだ。増税の影響により各科目の支出見込を増額した。また、PC やプロジェクター等の機器が劣化により故障している。更新が必要と思われるため事務局費（備品購入費）を 500 千円とした。 ⇒承認。プロジェクターについては有効活用をすること。								

会議名称	学会委員会（平成 26 年度第 1 回）
日 時	平成 26 年 6 月 12 日（金）16:00～17:00
場 所	中央病院 3 階 第 3 会議室
<p>2 平成 26 年度診療科別分科会の開催状況について</p> <p>【事務局より説明】 6 月 1 0 日までの実績として、開催回数 3 回、参加人数 144 人（うち、医師 50 人）、執行額 339,796 円となっている状況である。</p> <p>【伊藤会長より】 毎年秋ごろから増えるので、積極的な開催をお願いする。ただし、予算の都合もあるのでできるだけ早い時期の開催をお願いする。</p> <p>3 医学会名誉会員の推薦について</p> <p>【事務局より説明】 在職期間 10 年以上の平成 25 年度退職者は 8 名であり、推薦基準に該当したのは高田病院：石木 幹人先生、中部病院：北村 道彦先生の 2 名であった。</p> <p>【質疑】 ・中央病院：武内 健一先生、宮古病院：田巻 健治先生推薦基準に該当しないのか。 ⇒あくまでも、推薦基準に則った場合は該当しない。</p> <p>・推薦基準が医学会長、医学会副会長、総会長、学会委員長、編集委員長及び評議員 10 年以上担当した会員となると極めて少数の方々しか該当しない。委員長ではないものの、委員（査読委員含む）としての功績や分科会代表世話人の功績も考慮したい。この解釈を『特別な功績』にあてはめてはどうか。 ⇒『特別な功績』の解釈を学会委員、編集委員、査読委員及び分科会代表世話人のそれぞれの任期の通算が 10 年以上という解釈としたい。→評議員会にて確認する。</p> <p>4 第 46 回岩手県立病院医学会総会について</p> <p>【鈴木総会長（二戸病院長）より説明】 ・シンポジウムは清水哲朗先生（東京大学大学院 教授）と鈴木総会長（二戸病院長）の 2 人で司会を行う。清水哲朗先生には総括発言を依頼している。基調講演は西川満則先生（国立長寿医療センター 緩和ケア診療部医師）に依頼している。シンポジウムは総会参加者に加え、多職種へ周知している。二戸市内の施設の方々も参加してもらう予定である。（参加費無料） ・演題については 81 題の登録があり、現在、抄録確認、セッション別及び座長の調整を行っているところである。</p> <p>5 第 47 回岩手県立病院医学会総会について</p> <p>【伊藤会長より説明】 当初は釜石病院が担当病院であったものの、沿岸での開催が難しい（震災の影響により開催会場が無い）こと、今年度の人事異動により遠藤院長が釜石病院から中部病院へ転勤したことを踏まえ、第 47 回医学会総会の担当は釜石病院から中部病院へ変更としたい。（伊藤会長より遠藤中部病院長へは内諾済み。） ⇒承認。</p> <p>6 第 48 回岩手県立病院医学会総会について</p> <p>【伊藤会長より説明】 通常の周期であると、この年（平成 28 年度）は総合学会を行う予定である。しかし、望月中央病院長より、平成 28 年 6 月 23 日～24 日に日本病院学会を岩手で行う（事務局：中央病院 業務企画室）旨の連絡があった。総合学会と日本病院学会の内容は似ていること、</p>	

会議名称	学会委員会（平成 26 年度第 1 回）
日 時	平成 26 年 6 月 12 日（金）16:00～17:00
場 所	中央病院 3 階 第 3 会議室

同年に同時開催することは事務局としても大変であるため、第 48 回は総合学会ではなく、医学会総会としたい。そして、翌年（平成 29 年度）に総合学会を行いたい。
⇒承認。

また、担当病院を決めなければならない。沿岸の病院での開催は現状として難しいため内陸の病院を担当としたいが、どうするか。

⇒H27 中部病院（北上市）【予定】、H26 二戸病院（二戸市）【予定】、H25 磐井病院（一関市）、H24 久慈病院（盛岡市）【総合学会】、H23 中部病院（北上市）の開催であった。胆沢病院の担当としたい。

7 平成 26 年度春季学術集会について

開催日は平成 27 年 1 月 24 日（土）を確認。講師推薦について研修医向け講師 1 名、全体向け講師 1 名の計 2 名を推薦してほしい。講師推薦については、事務局より 5 月下旬に医学会役員へ推薦依頼文書を周知済み。

【野崎副会長より】

例年は、この時期に推薦講師の募集を行い、第 2 回評議員会（医学会総会時）にて推薦講師へのアプローチ順を決めている。しかし、アプローチする時期は 9 月であり、春季学術集会を 1 月に行うとなると、アプローチされる講師は 1 年以上前からスケジュールが埋まっているケースが多く、断られることも多い。そのため、春季学術集会の推薦講師の募集をもっと早い時期に行い、アプローチする時期も早めたい。

⇒今年度については、6 月末を推薦講師の締切り時期として、募集をすることとしたい。来年度以降については、春先に講師を推薦してもらい、第 1 回の評議員会で推薦講師のアプローチ順を決めていきたい。

8 その他

昨年度の第 3 回評議員会にて承認を得た会則について確認を行った。

⇒医学会総会にて承認を得る。